

第3回 志木市民会館及び志木市民体育館 再整備基本計画策定検討委員会

令和3年4月12日

□ 目 次 □

0. 新施設の諸室のイメージの前に P 1
（1）市民会館ホール客席と管理棟機能の在り方 P 1
1. 新施設の諸室のイメージ P 2
（1）市民会館・市民体育館複合施設に求められる機能と配慮事項 P 2
（2）各機能の施設計画 P 4
①ホール機能 P 4

0. 複合施設の諸室のイメージの前に

(1) 市民会館ホール客席数と管理棟機能の在り方について

➤ 整備方針を踏まえ、改めて現市民会館ホール棟の客席数について議論します。

現在の客席数
788席

利用実態
平均約570人/件

見る側・見せる側からの意見は？

利用状況は？

使い勝手は？

客席の広さは？

通路の広さは？

客席の数は？

市の事業の利用実態

- ・ 成人式 約500人（今年度は、2部制）
- ・ 敬老会 約1,100人（2部制、現在は実施していない）
- ・ 文化祭 約2,000人（ステージごとにその都度入れ替え）

➤ 整備方針を踏まえ、現市民会館管理棟機能について議論します。

※工事期間中は、現在仮庁舎で使用しているマルイ8Fへの移設を検討している。

現在の会議室
11室

利用実態
1日平均8件

利用人数
1件 平均20~40人

使う側からの意見は？

利用状況は？

使い勝手は？

部屋の広さは？

部屋の数？

マルイ8Fに移設の場合は？

1. 複合施設の諸室のイメージ

(1) 市民会館・市民体育館複合施設に求められる機能と配慮事項

➤ 整備方針を踏まえ、複合施設に求められる基本機能や配慮すべき事項は以下のようになります。

【複合施設に求められる基本機能や配慮すべき事項】

□：基本機能 □：配慮事項

方針1
小さなまちにあった
利用しやすい施設
の整備

- 誰もが立ち寄りやすく、利用しやすい施設
- ライフサイクルコストを意識した施設

交流機能

ライフサイクルコストの縮減

方針2
多様なニーズに対応し、
利用者に配慮した
施設の整備

- 世代構成の変化や多様化する市民ニーズに柔軟に対応した施設
- 誰もが快適に利用できるユニバーサルデザインに対応した施設

多目的(展示・創造支援等)機能

移動空間・行為空間への配慮

案内表示

方針3
まちに新たな賑わい
を創出する施設の
整備

- 様々な目的を持った来訪者が集うことにより生まれる賑わいをまち全体に広げる拠点となるような施設

ホール機能

会議室機能

体育機能

方針4
災害や自然環境に
配慮した施設の
整備

- 災害時における防災拠点としての機能を有する施設
- まちの歴史や自然環境、まちなみ景観に配慮した施設

災害活動拠点機能

災害時の建物性能の強化

自然エネルギー等の活用

周辺環境との調和

1. 複合施設の諸室のイメージ

(1) 市民会館・市民体育館複合施設に求められる機能と配慮事項

【基本機能の主な構成内容】

基本機能		主な内容	想定規模
ホール機能		舞台、客席、技術諸室、ホワイエ、楽屋、搬入・荷捌き、倉庫、トイレ など	
多目的機能	創造支援	リハーサル室（練習室を兼ねる）、会議室、練習室（会議室を兼ねる）など	
	展示	展示室（会議室を兼ねる）、展示コーナー（エントランスロビー内）など	
体育機能	アリーナ（競技場）	バレーボールコート3面、観客席	
	武道場	柔道場、剣道場、弓道場、卓球場	
	トレーニングルーム等	トレーニングルーム、エクササイズルーム、ロッカー室、シャワー室、更衣室、トイレなど	
	器具庫	器具庫	
交流機能		エントランスロビー、保育室（託児室、授乳室）、医務室、飲食スペース、待合ロビー、トイレなど	
災害活動拠点機能		会議室、避難スペースなど	
管理機能		事務室、受付カウンター	
その他		通路、バックスペース、機械室、駐車場など	

1. 複合施設の諸室のイメージ

(2) 各機能の施設計画

①ホール機能

- ▶ ホール機能は、主に市民の文化芸術活動の発表や練習に対応するとともに、音楽やミュージカル、演劇、ダンス・舞踏、オペラや伝統芸能など鑑賞機会が提供可能な機能に加え、集会・講演会や式典等にも対応が可能な多目的ホールを目指します。

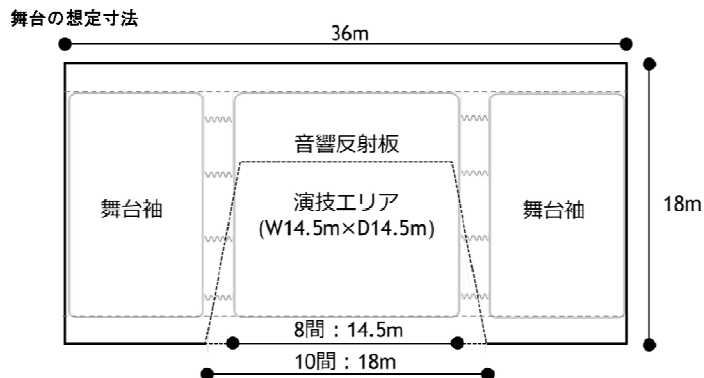
機能	主な内容
舞台	<ul style="list-style-type: none">◇現市民会館と同様なプロセニウム形式※の舞台を基本とします。 ※プロセニウム形式：舞台と客席を額縁（プロセニウム）によって明確に区画する舞台形式◇様々なジャンルの演目に対応できる舞台の広さ、演出環境を確保します。 ※舞台想定：36m×18m、主舞台W14.5m（8間）、D14.5m程度、十分なスペースを確保◇音響反射板を設置し、観客や演者自身への音響に配慮します。◇舞台袖は演出用品や出演者の控え場所等を考慮し、上手・下手とも十分な広さを確保します。
客席	<ul style="list-style-type: none">◇客席は？00人程度を想定します。◇ホールの非利用時にサブアリーナとできるよう可変式などの検討も必要です。◇客席のどこからでも舞台での演奏や演技が十分に鑑賞できるよう、舞台までの間隔を確保し、視聴に配慮します。◇エントランスやホワイエから客席まで至る動線は、高齢者や障がい者の利用に配慮します。◇ホワイエから客席への出入り口には前室を設け（二重扉）、遮音と遮光性能を確保し、客席空間内は鑑賞しやすい機能を持つものとしします。
ホワイエ	<ul style="list-style-type: none">◇来訪者が開演前や休憩時間に憩い、くつろげる空間とします。◇ホールが使われていないときは、単独もしくはエントランスロビーなどと一体的な利用により、美術品の展示など様々な利活用ができるよう配慮します。◇十分な数の客用トイレ（多目的トイレ含む）を設け、待機場所についても配慮します。◇主催者が利用できる控室の確保やクロークとしての利用も想定します
楽屋	<ul style="list-style-type: none">◇出演人数に合わせて更衣スペースや洗面等を設置した小・中楽屋を各2室計画します。団体等出演者が多い場合は、リハーサル室等を楽屋として利用することとします。
技術諸室	<ul style="list-style-type: none">◇音響調整室、調光操作室、投影室などを設けます。◇フロントサイドのスポットライト、シーリングスポットライト、フォロースポットライトの投光室を設けます。◇舞台機構設備制御盤、アンプ架などを必要に応じて計画します。
その他	<ul style="list-style-type: none">◇舞台に隣接して楽器庫や舞台備品庫を設けます。◇舞台用品を搬出入口から舞台へ段差なく直接搬入できるよう配慮します。◇11tトラック等搬入車両に対応した荷捌きのスペースを設けます。◇悪天候時や夜間の作業に対処するための配慮をします。

1. 複合施設の諸室のイメージ

(2) 各機能の施設計画

①ホール機能

【舞台の想定寸法のイメージ】



【可変式の客席のイメージ（日高市文化体育館日高アリーナ）】



出典：日高市HP

【舞台イメージ：さいたま市プラザノース】



※舞台サイズ 間口：16.0m
高さ：8.5m
奥行：12.6m

音響反射板

客席 1F 257席（車いす席7席含む）
2F 146席
合計 403席

出典：さいたま市HP

【ホワイエイメージ：長岡リリックホール】



出典：長岡市HP

【楽屋イメージ：さいたま市プラザノース】



出典：さいたま市HP

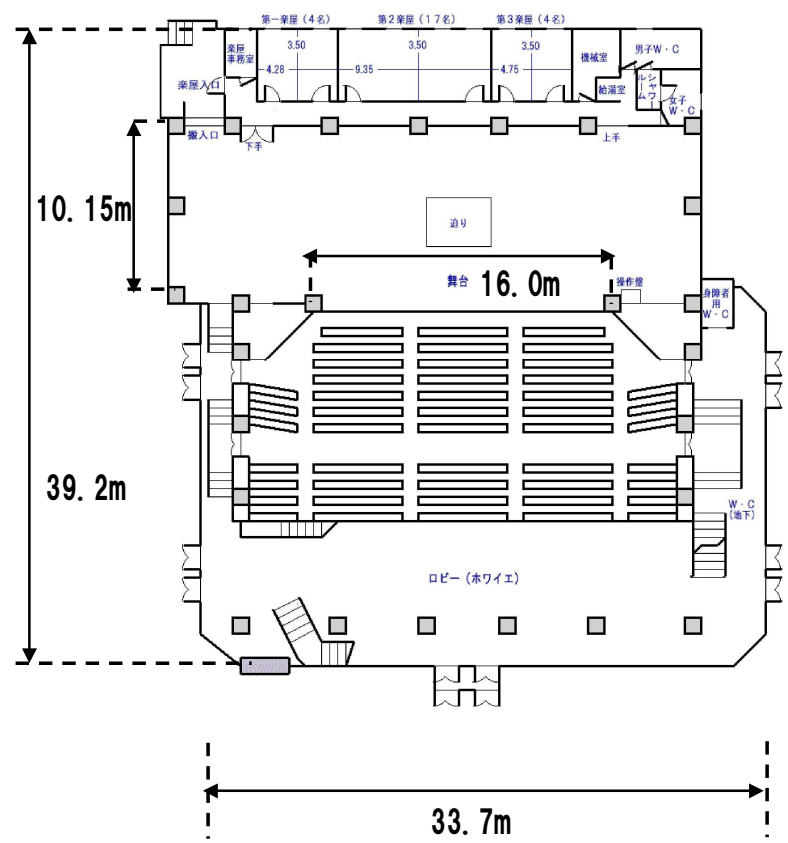
1. 複合施設の諸室のイメージ

(2) 各機能の施設計画

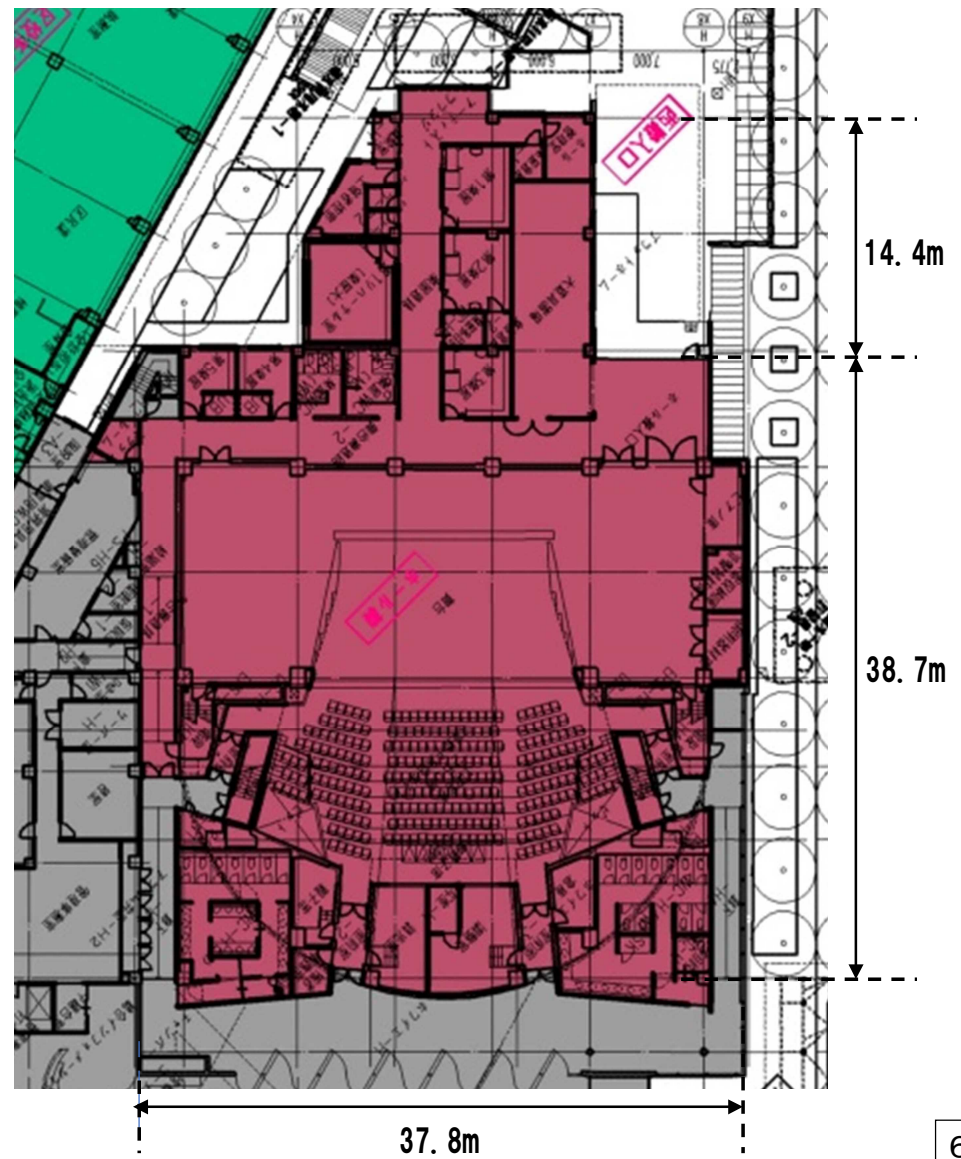
①ホール機能

【志木市民会館（1F）】

舞台の寸法
高さ：8.00m
間口：16.00m
奥行：10.15m



【さいたま市プラザノース（1F）】

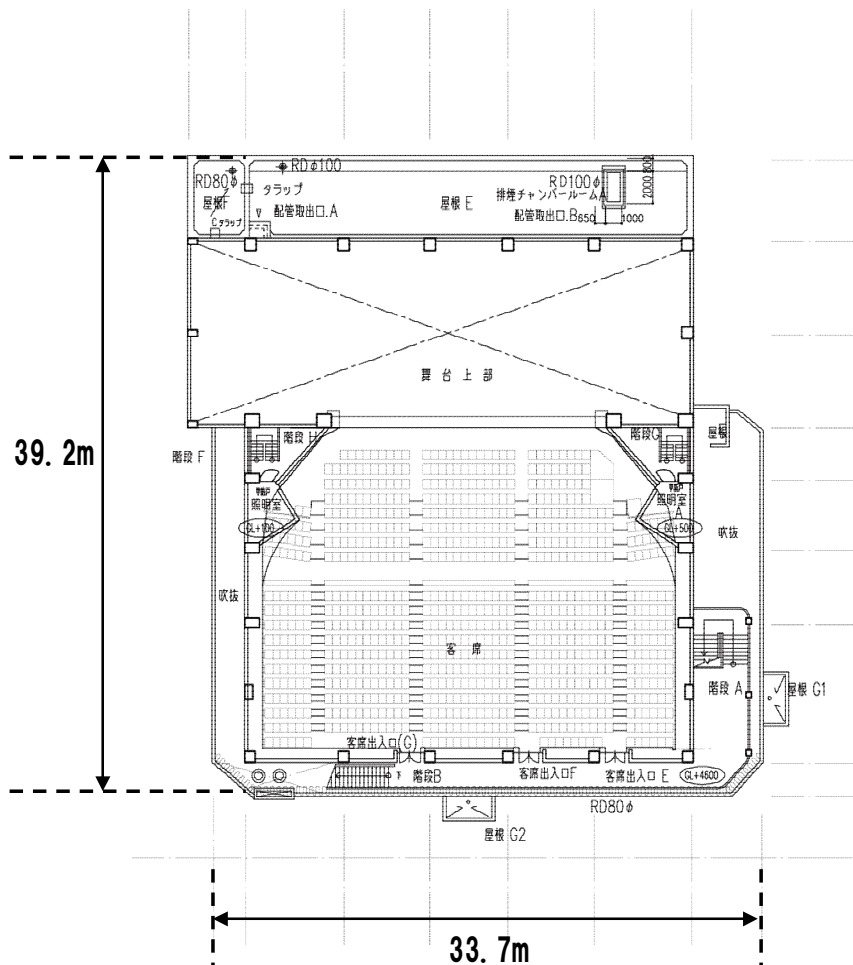


1. 複合施設の諸室のイメージ

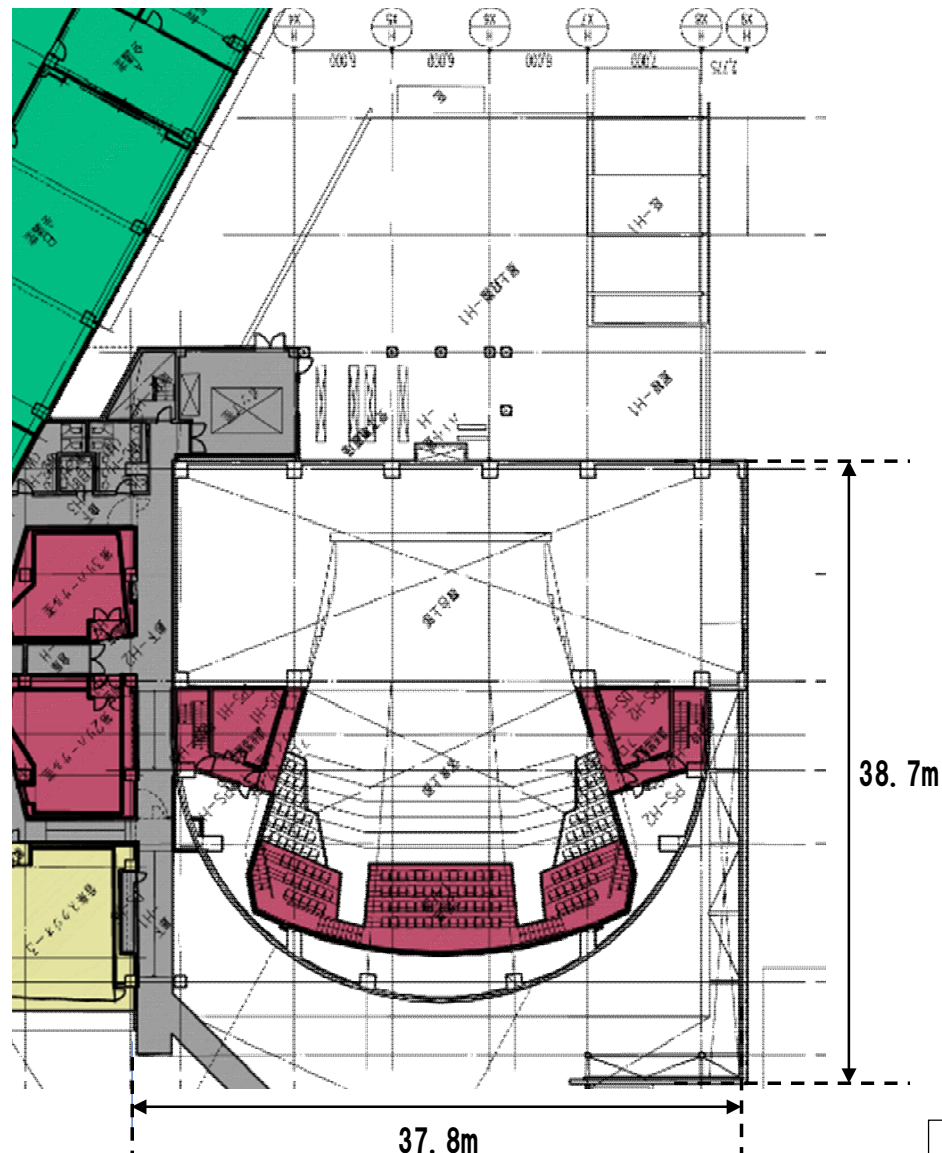
(2) 各機能の施設計画

①ホール機能

【志木市市民会館（2F）】



【さいたま市プラザノース（2F）】



1. 複合施設の諸室のイメージ

(2) 各機能の施設計画

② 体育機能

▶ 現在の実技可能な競技種目を維持することを基本とした上で、スポーツと健康づくりの場、また、気軽に訪れ交流できる憩いの場など、様々な側面から市民生活をサポートする環境整備を目指します。

機能	主な内容
アリーナ (競技場)	<ul style="list-style-type: none">◇競技スポーツ大会のメイン会場や日常的なサークル活動、各種教室の場となるもので、バレーボールコートで3面分を確保できる広さとします。◇アリーナ観覧席は、大会の開催時に試合を応援・見学する場であるとともに、出場選手が休憩待機する場としても利用するものとして、コートの両側に配置し、約〇百人（片側〇百人）収容可能な固定席を配置し、車椅子の方に配慮した席を設けます。◇参加選手がアリーナ（競技場）と観覧席（待機場所）をスムーズに行き来できるように、選手用の連絡通路をアリーナの四方に設置します。◇空調設備（冷暖房設備）や照明設備、電気配線・コンセント類などは、競技環境や利便性に十分配慮して整備します。また、災害時の利用などを考慮し、自然換気や自然採光などの導入についても検討を行います。◇強固な壁や防護ネットを設けるなど、多様な競技の利用に配慮するものとします。
武道場	<ul style="list-style-type: none">◇柔道場：各種競技大会の開催や練習道場のほか、生涯スポーツとして楽しむことができるよう、畳敷き〇面（1面：8～10m四方）を設置します。◇剣道場：各種競技大会の開催や練習道場のほか、生涯スポーツとして楽しむことができるよう、板張り〇2面（1面：9～11m）の正方形または長方形を設置します。◇弓道場：日々の練習などの個人利用に加え、教室や大会の利用にも対応し近的（的面までの距離 28m）〇人立を基本として、講習会や昇段試験にも対応できるものとします。◇卓球場：生涯スポーツやレクリエーションの場として、年齢を問わず誰もが卓球を気軽に楽しむことができるものとし、卓球台が〇台程度置ける広さを確保します。◇柔道場と剣道場を同一フロアに併設することで、畳敷き・板張りともに最大〇面で競技することも可能となることから、可動式の間仕切りを設置するなど、多目的な利用にも対応した仕様を検討します。◇競技場に観覧スペースを新たに設置することで、誰もが気軽に立ち寄り、見学することができることから、みるスポーツとしての機能強化も併せて検討します。
トレーニング ルーム等	<ul style="list-style-type: none">◇運動不足の解消や生活習慣病の予防など、それぞれの目的や体力に合わせて誰もが気軽に健康・体力づくりができるよう、各種トレーニング機器を備えた「トレーニング室」を設置します。◇ダンススポーツ（社交ダンス）やクラシックバレエなどの団体利用に加え、エアロビクスやヨガなどの教室利用にも対応した多目的室を設置します。設備は、音楽使用に対応できるように音響や照明等にも配慮した仕様とします。◇誰もが安全で使いやすいように配慮し、明るく清潔感のある更衣室やシャワー室を設置するとともに、断水時にも使用可能なトイレを設置するなど、常に清潔で安心して利用できるよう、衛生面に配慮した施設とします。
器具庫	<ul style="list-style-type: none">◇器具庫は、競技スペースに面した場所に設置し、十分な面積を確保するとともに、外部からのスムーズな機材搬入路を確保します。◇武道場や多目的室など、その他各諸室の器具庫についても、現施設の利用実態を踏まえ、使い勝手のよい配置と広さを確保します。